

# ポケットカード株式会社

## 2017年2月期 第2四半期 決算説明会

代表取締役社長 **渡辺 恵一**



---

**2017年2月期 第2四半期  
業績概況**

# 業績概況

百万円

	16年2月期 2Q	17年2月期 2Q			<参考> 2Q業績予想 (4/7公表)
			前年同期比	増減率	
① 営業収益	17,825	18,666	+841	+4.7%	18,300
② 営業利益	1,844	1,984	+139	+7.6%	1,900
③ 経常利益	1,850	1,983	+132	+7.2%	1,900
④ 当期純利益	667	985	+317	+47.6%	900

# 営業利益 前年同期差異要因

	16年2月期2Q	17年2月期2Q	前年同期差
営業利益	18.4 億円	19.8 億円	+ 1.4 億円

増益要因 + 16.0 億円

減益要因  $\Delta$ 14.6 億円

ショッピング収益 増  
+15.5

キャッシング収益 減  $\Delta$ 3.9

その他収益 減  $\Delta$ 3.2

貸倒・利息返還関連費用 増  $\Delta$ 2.3

その他販売管理費 増  $\Delta$ 5.2

金融費用 減 + 0.5

営業利益  
18.4

営業利益  
19.8

16/2期2Q

17/2期2Q

# 営業収益

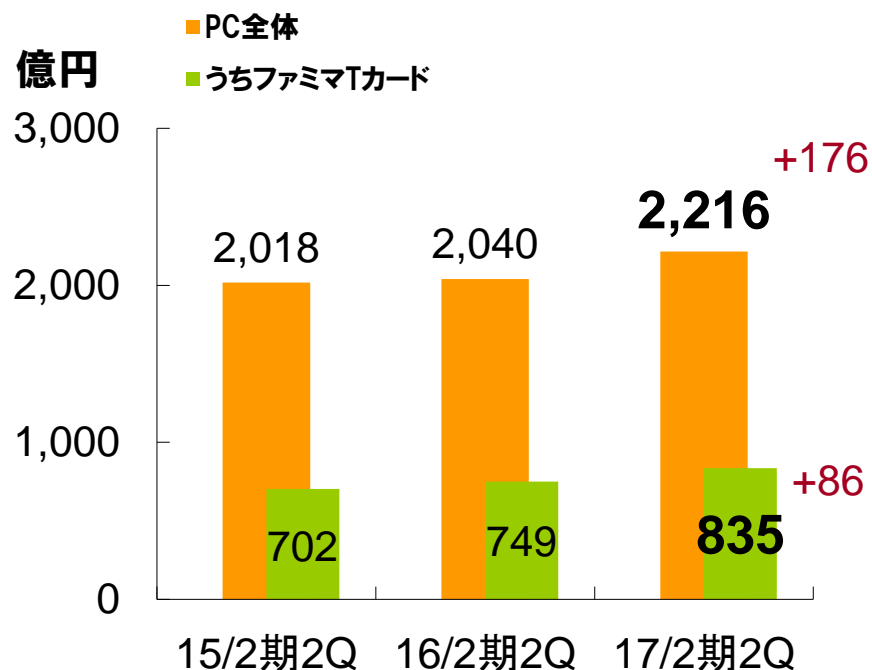
百万円

	16年2月期 2Q	17年2月期 2Q	前年同期比	増減率
① 信用購入 あっせん	12,711	14,263	+1,552	+12.2%
② 融資	3,451	3,059	-392	-11.4%
③ その他	1,662	1,343	-319	-19.2%
④ 合計	17,825	18,666	+841	+4.7%

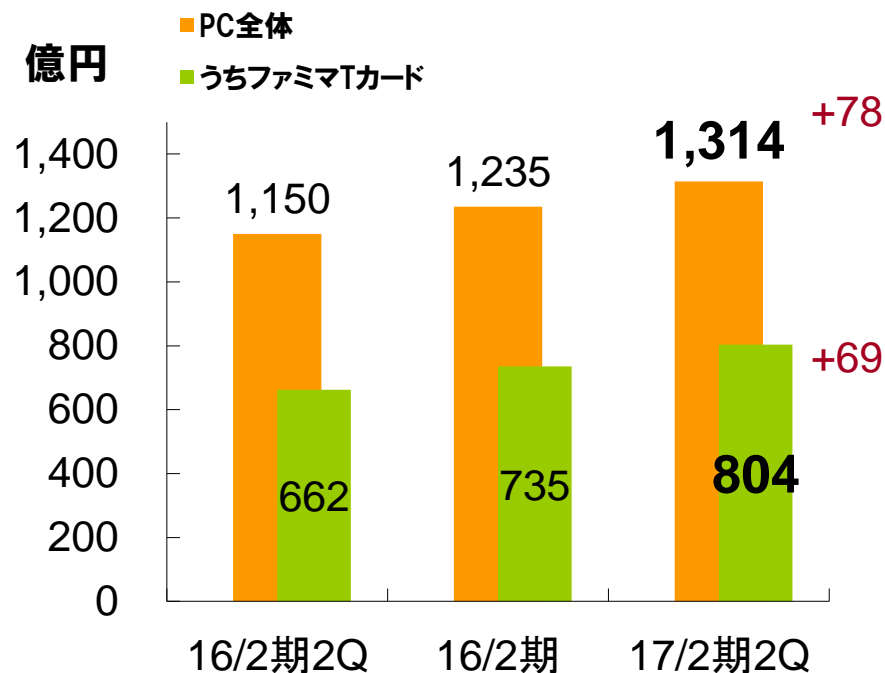
# 信用購入あっせん部門①

取扱高は好調に推移し、前年同期比で大幅なプラス  
ショッピングリボ残高はファミマTカードを中心に順調に拡大

## ショッピング取扱高



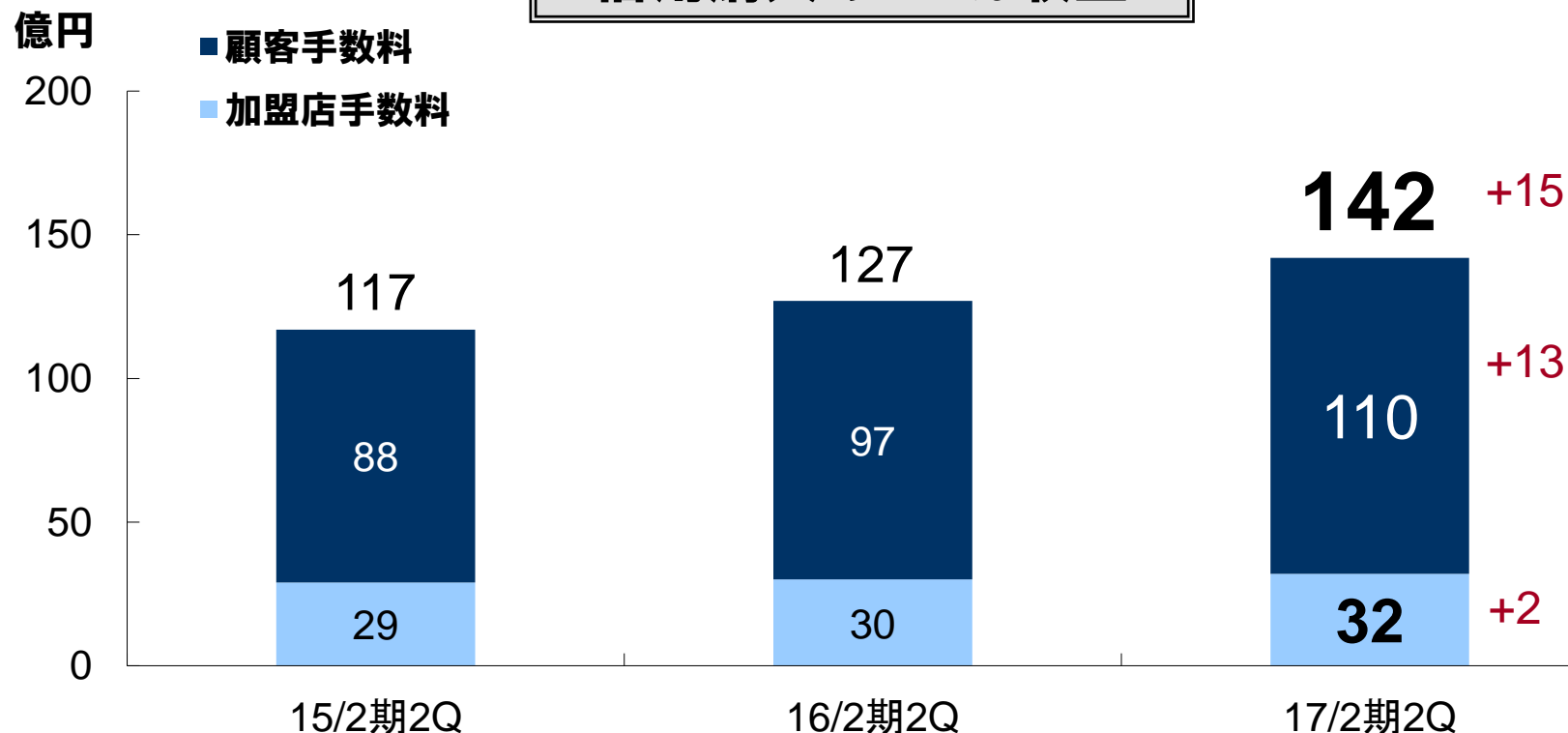
## ショッピングリボ残高



# 信用購入あっせん部門②

ショッピングリボ残高の順調な拡大に伴い  
顧客手数料が増収の牽引役に

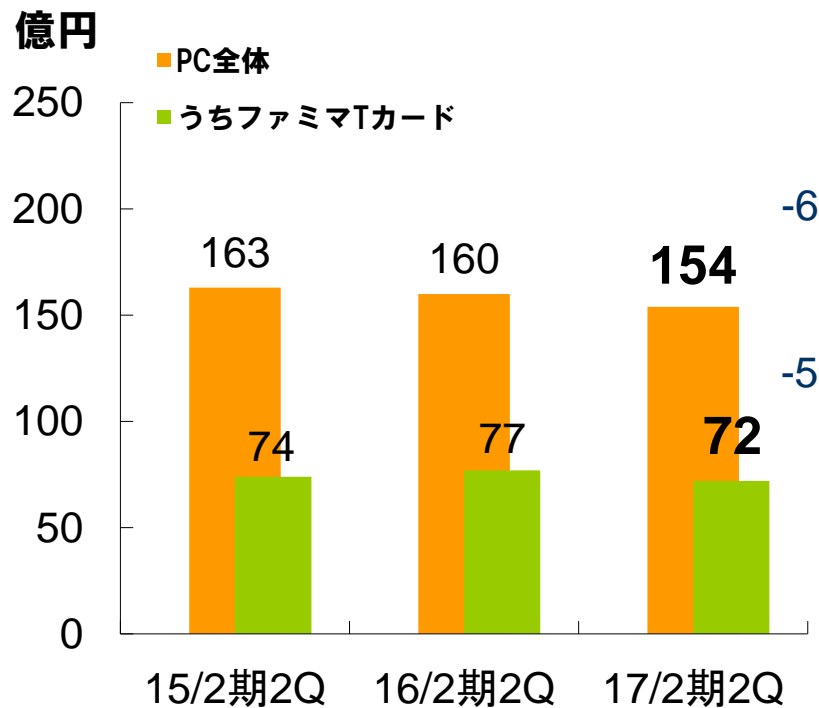
## 信用購入あっせん収益



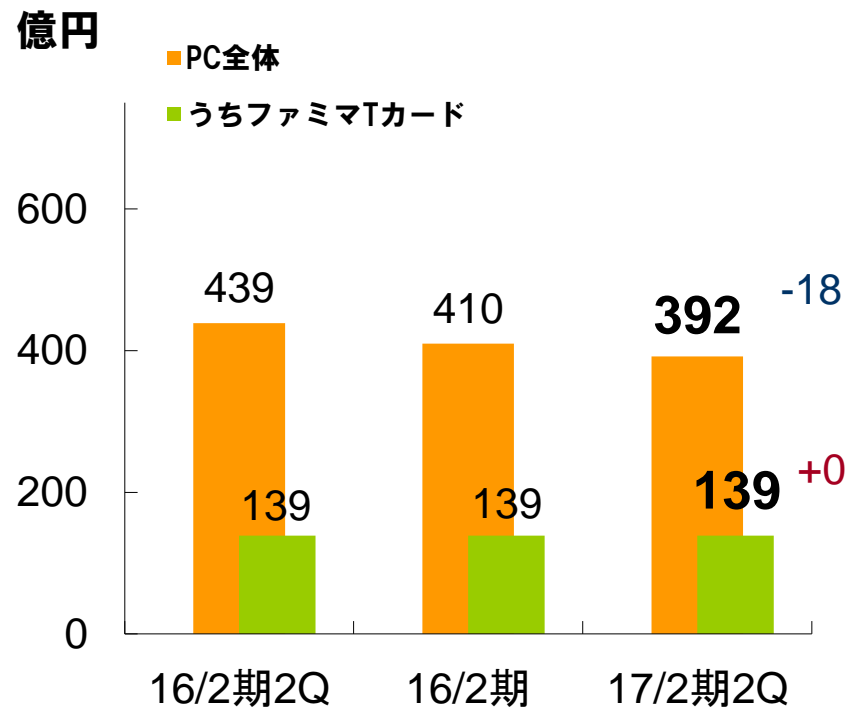
# 融資部門①

## 融資取扱高は微減 融資残高は減少傾向が続くも減少幅は縮小

### 融資取扱高



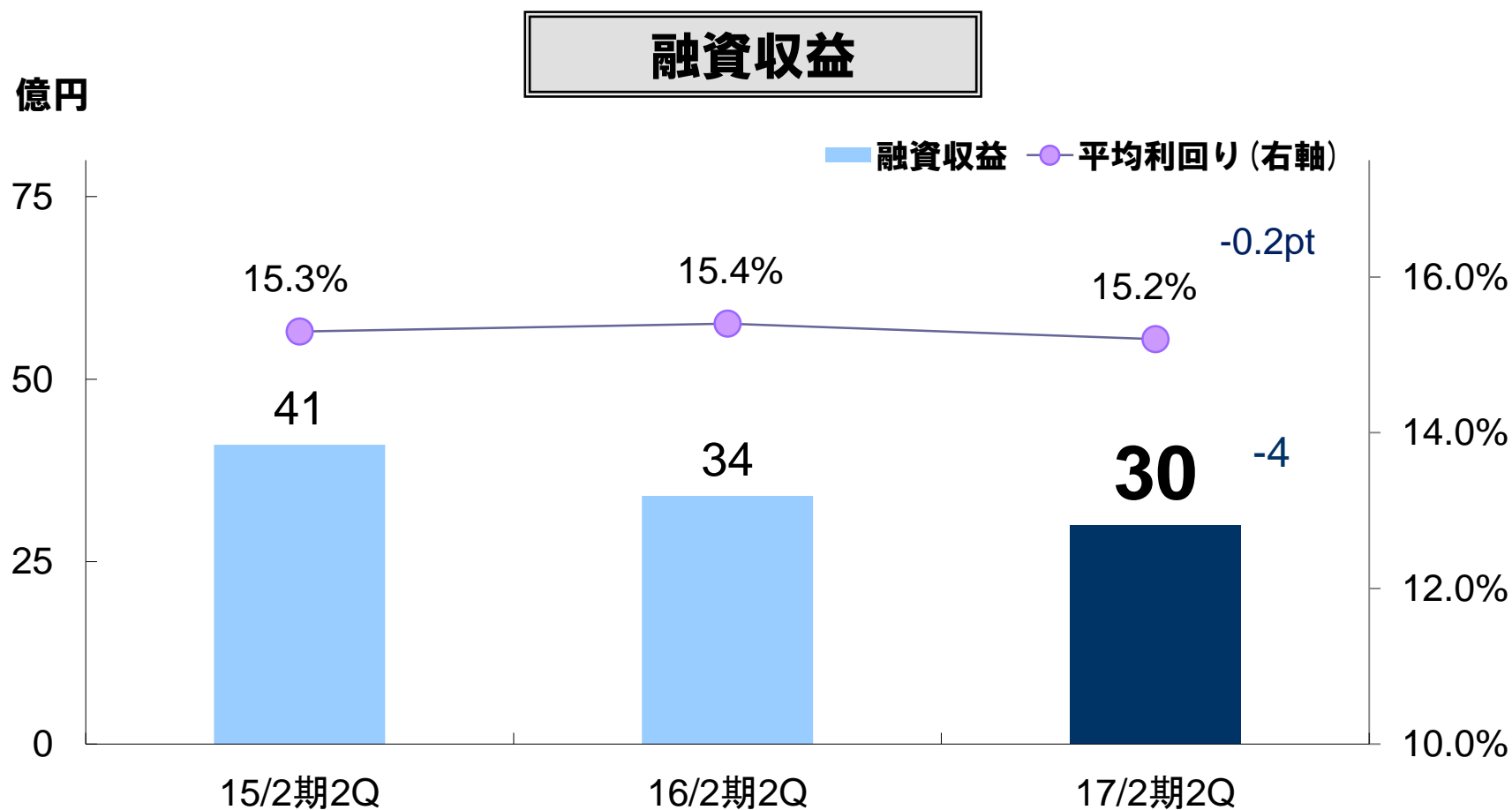
### 融資残高





# 融資部門②

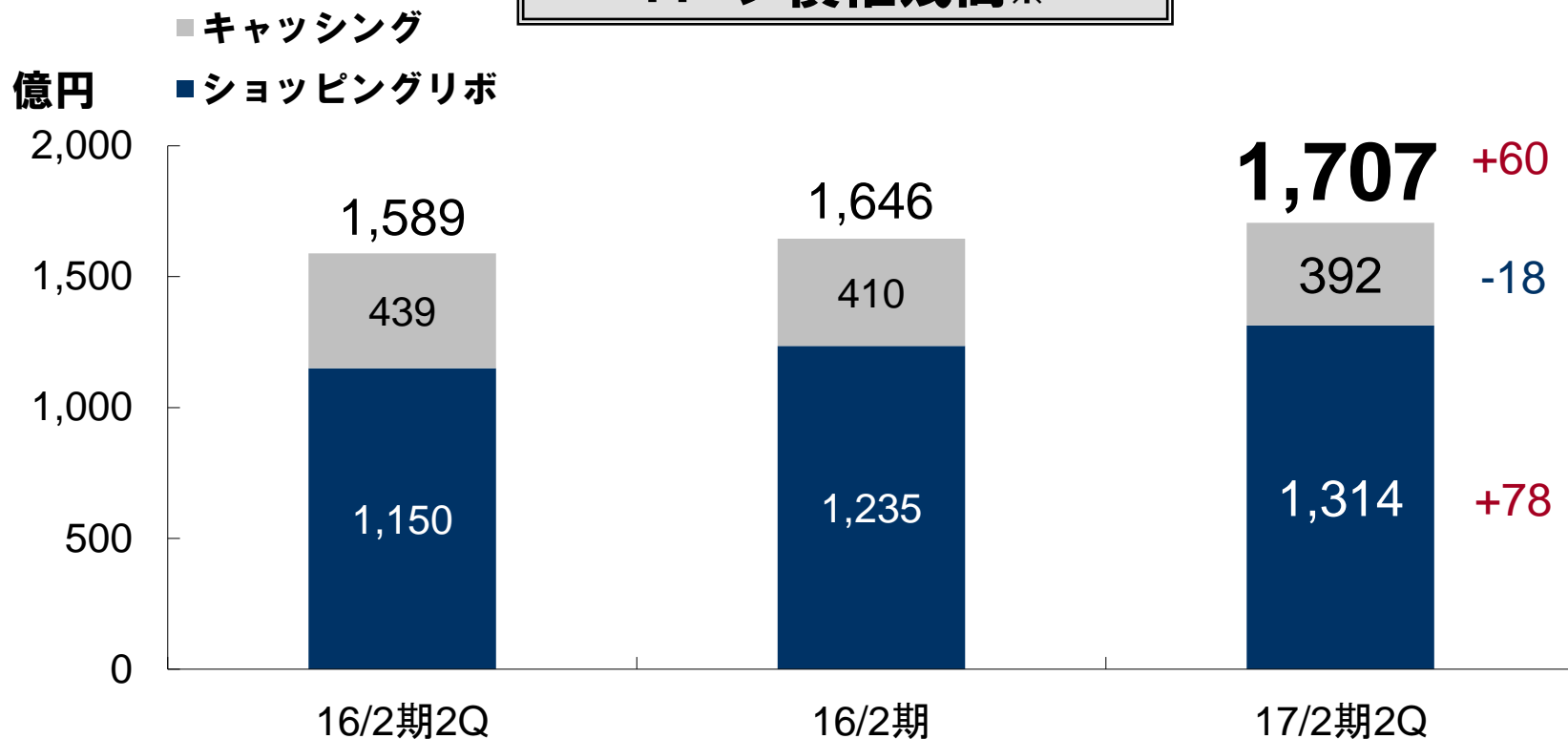
## 融資残高の減少により融資収益は減収



# ローン債権残高

ショッピングリボの拡大によりキャッシング減少分をカバー  
ローン債権残高全体では継続的な増加基調に

## ローン債権残高※

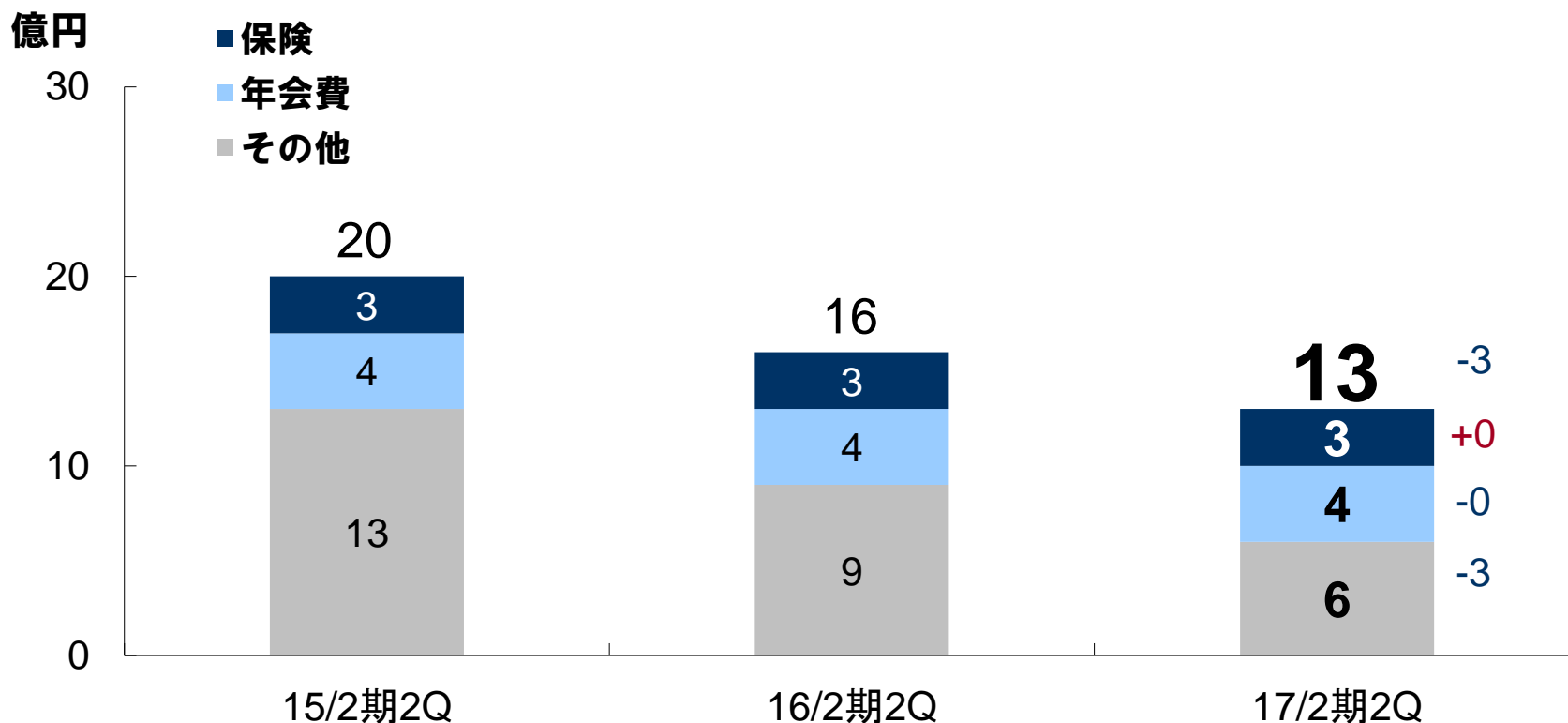


※ローン債権残高=ショッピングリボ残高+キャッシング残高

# その他営業収益

ファミマTカード獲得に係るファミリーマート社との費用分担見直し等により、その他営業収益は減少

## その他営業収益



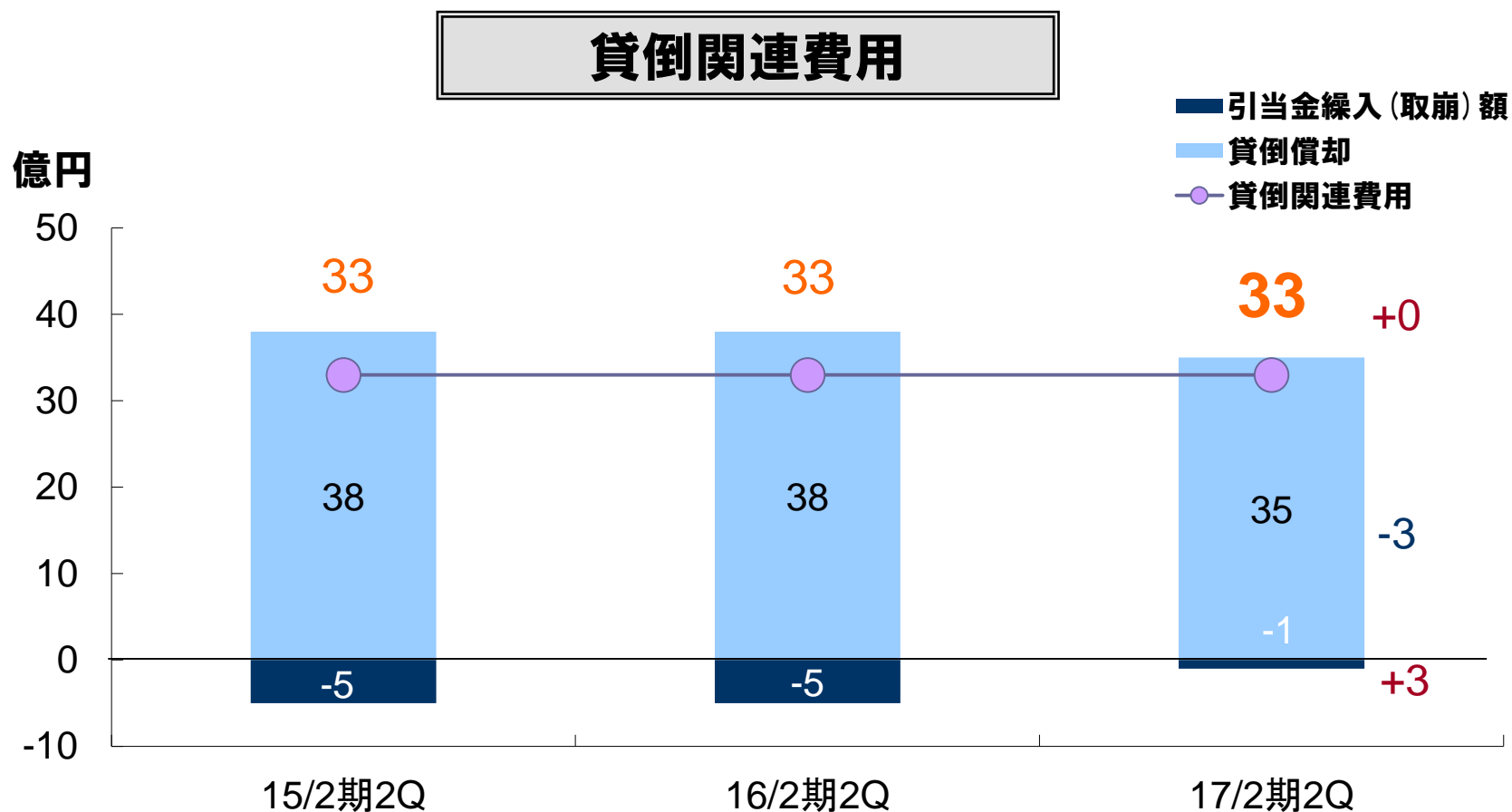
# 營業費用

百万円

	16年2月期 2Q	17年2月期 2Q		
			前年同期比	増減率
① 金融費用	613	560	-52	-8.6%
② 販売管理費	15,366	16,121	+754	+4.9%
③ 貸倒+利息返還 関連費用	5,791	6,020	+229	+4.0%
④ 貸倒関連費用	3,295	3,327	+32	+1.0%
⑤ 利息返還関連費用	2,496	2,693	+197	+7.9%
⑥ その他 販売管理費	9,575	10,100	+525	+5.5%
⑦ 營業費用	15,980	16,682	+701	+4.4%

# 貸倒関連費用

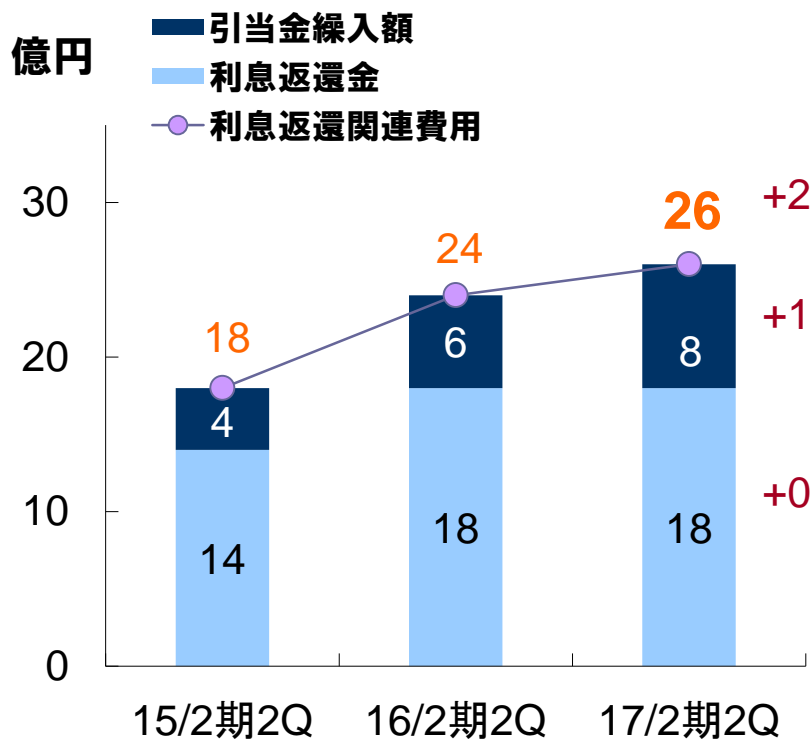
貸倒償却が減少するも引当金取崩額の減少により  
貸倒関連費用は横ばい



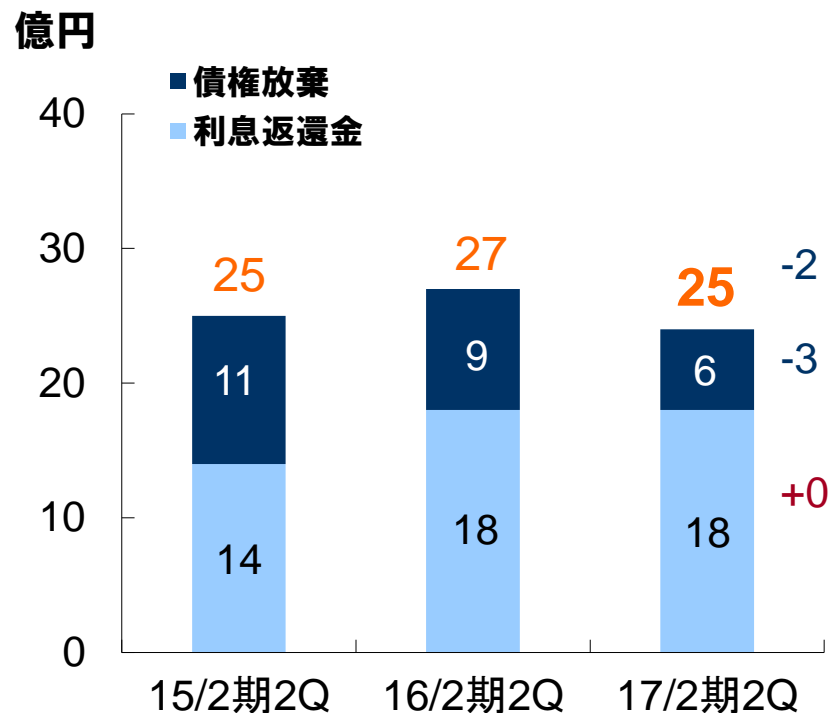
# 利息返還関連費用①

完済顧客への返金増加により利息返還関連費用は増加  
利息返還金と債権放棄との合算では前年同期比減少

## 利息返還関連費用



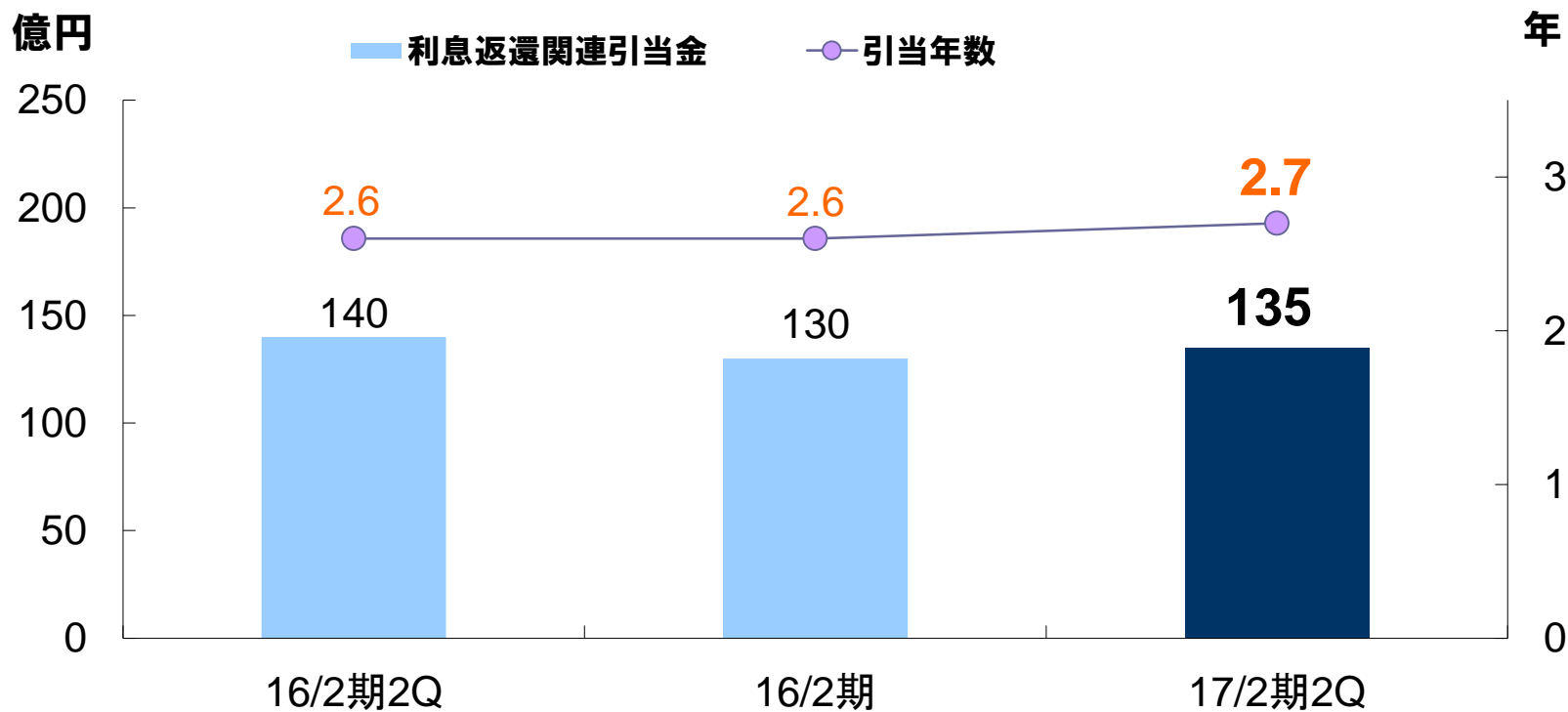
## 利息返還金+債権放棄



# 利息返還関連費用②

利息返還関連引当金の引当年数は2.7年と保守的な水準を継続

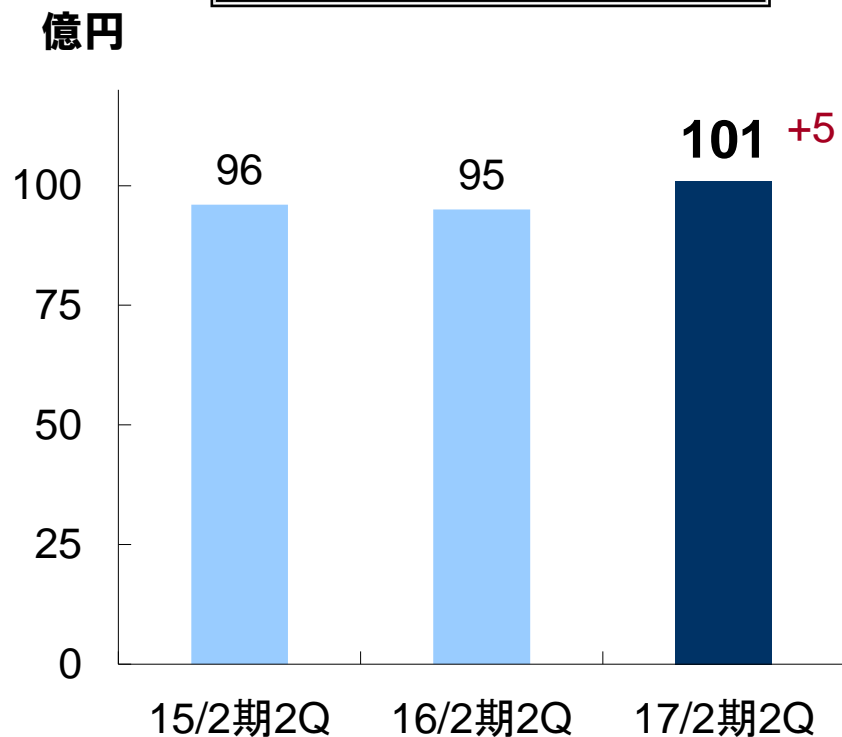
## 利息返還引当金



# その他販売管理費

ショッピング取扱高増加に伴う連動経費の増加等により  
その他販売管理費全体では前年同期比増加

## その他販売管理費



## 主な増加要因

- ◆ 取扱高増加による連動費用・ポイント費用増等 (+5億円)
- ◆ カード獲得費用増 (+1億円)

## 主な減少要因

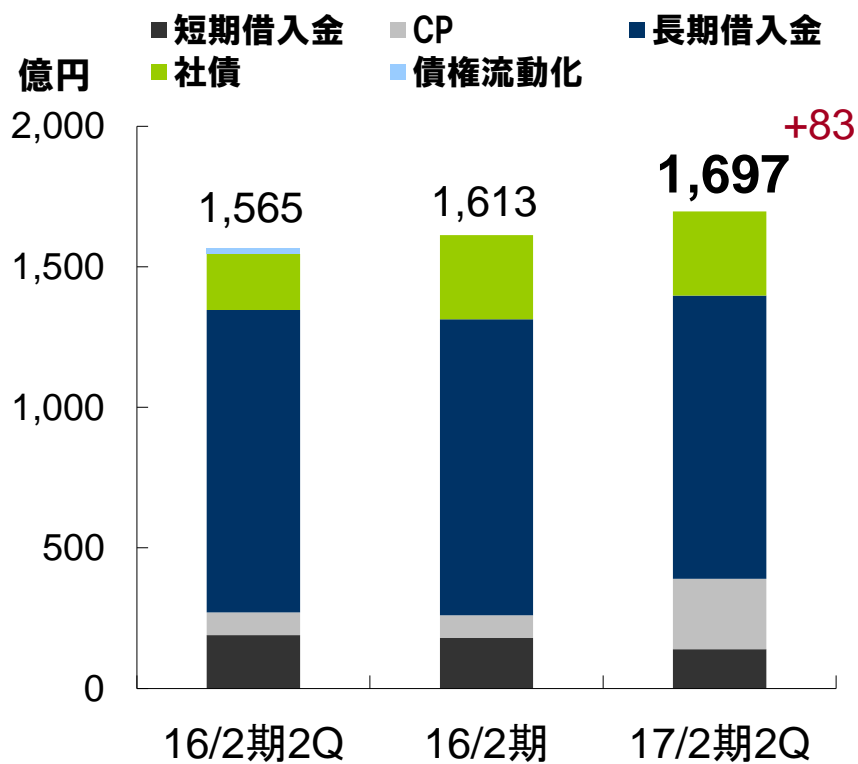
- ◆ 配布型カードの作成費用減少等 (△1億円)



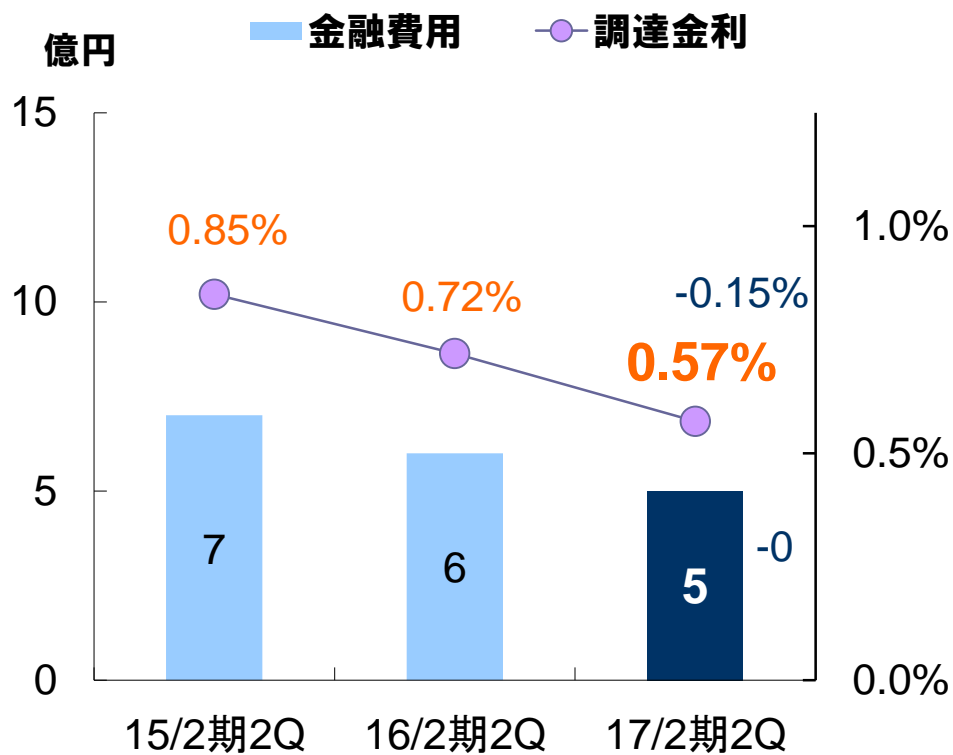
# 資金調達

調達総額は増加するも調達金利の低下により金融費用は減少

## 調達総額



## 金融費用/調達金利



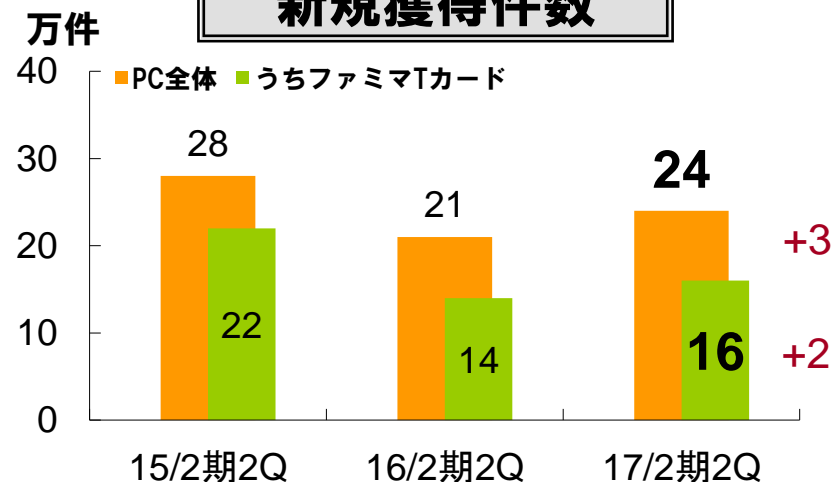
# 営業数値

## 新規獲得件数はファミマTカードを中心に拡大 前年同期から増加

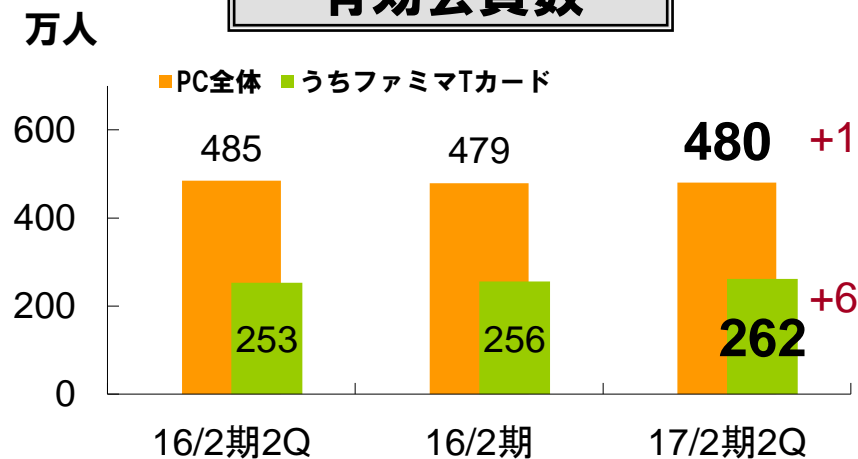
### 営業数値概況

	17年2月期 2Q	前年同期比
① 新規獲得件数	243 千件	+29 千件
② 有効会員数	4,799 千人	- 52 千人
③ 利用会員数	1,904 千人	- 16 千人
④ 年間利用率	39.5%	+ 0.6 pt

### 新規獲得件数



### 有効会員数



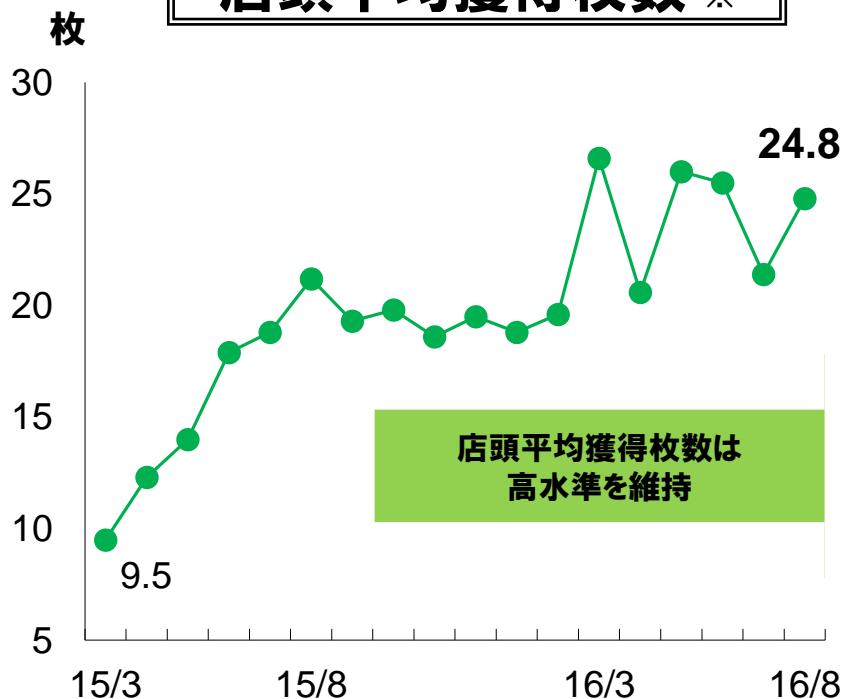
---

# 2016年度下期 経営方針

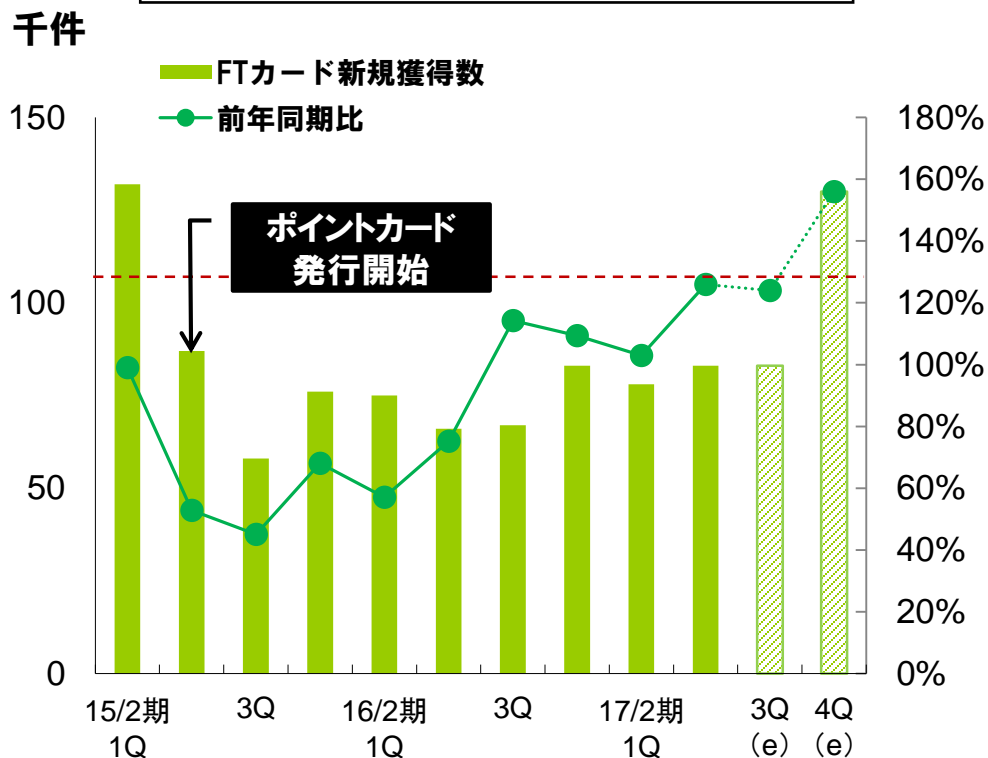
# ファミマTカード事業のさらなる強化①

店頭での効率的な獲得手法を確立  
新規獲得件数は昨年後半以降、増加基調が続く

ファミマTカード  
店頭平均獲得枚数 ※



ファミマTカード新規獲得数



※「店頭平均獲得枚数」=人員投入店舗における募集1回あたりの獲得枚数

# ファミマTカード事業のさらなる強化②

サークルKサンクス転換店でのファミマTカード募集を開始  
募集体制の強化、拡充に注力

ファミリーマートとユニーGHDの経営統合により、  
国内最大規模の店舗網を有するCVS事業へ

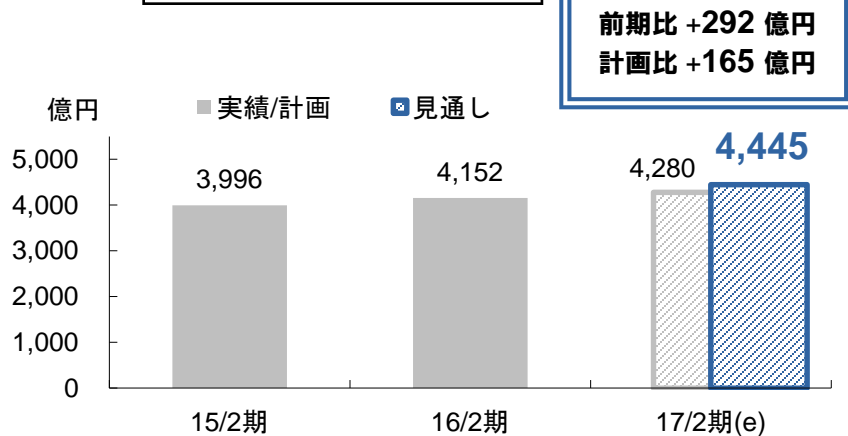
新たな営業拠点として「名古屋オフィス」を開設



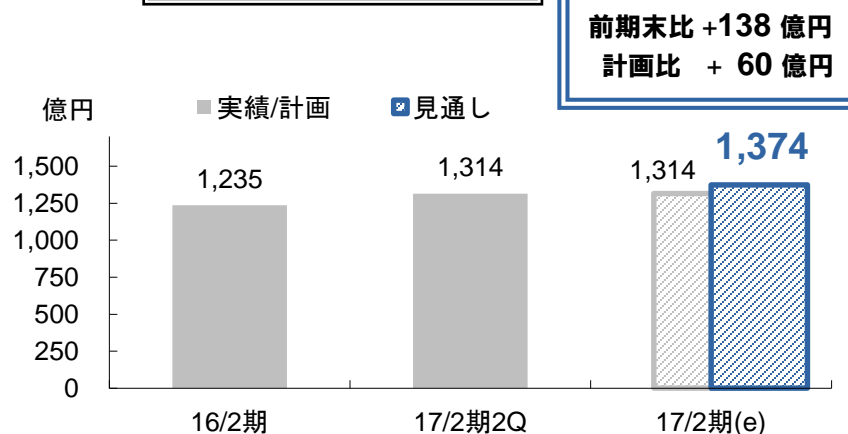
# ローン債権残高の継続的拡大（ショッピング事業）

## 取扱高・残高拡大に向け ファミマTカード、既存カードの両面で重点施策に注力

### ショッピング取扱高



### ショッピングリボ残高



### 下期見通し・重点施策

#### 【下期見通し】

- ショッピングリボ残高 1,374億円

#### 【重点施策】

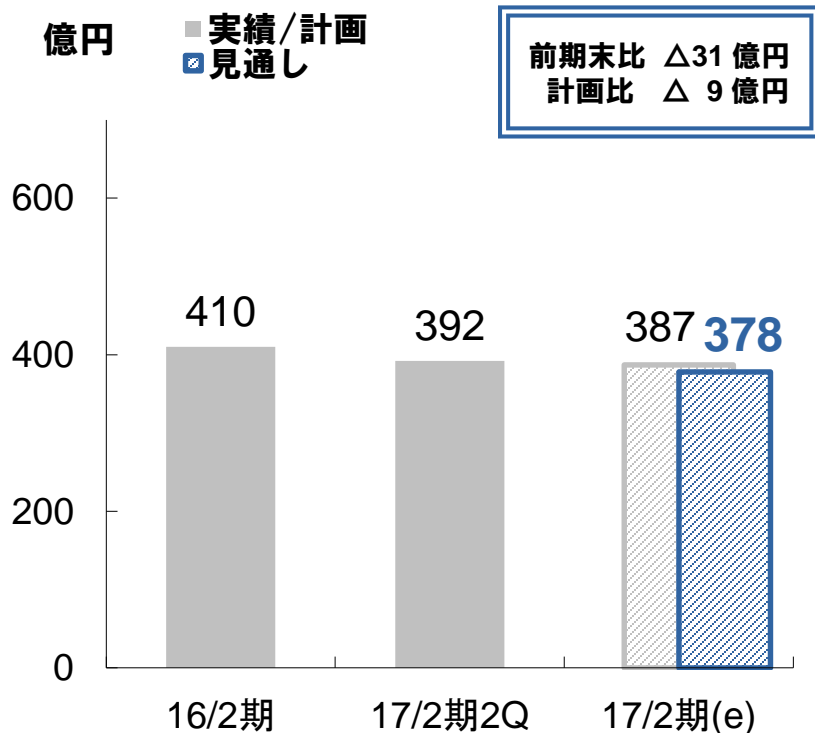
- ファミマTカード・Tカードプラス等の獲得強化、新規提携カード発行（個人・ビジネス）
- 途上与信による利用層の拡大と単価向上



# ローン債権残高の継続的拡大（キャッシング事業）

カード募集獲得強化、優遇金利等の施策により  
残高底打ちに向けた取り組みに注力

## 融資残高



## 下期見通し・重点施策

### 【下期見通し】

■ 融資残高 **378億円**

### 【重点施策】

- Fマネーカード、新規提携カード、個人事業主向けローン強化
- 優遇金利施策等、新規入会者・既存融資未利用会員への利用促進



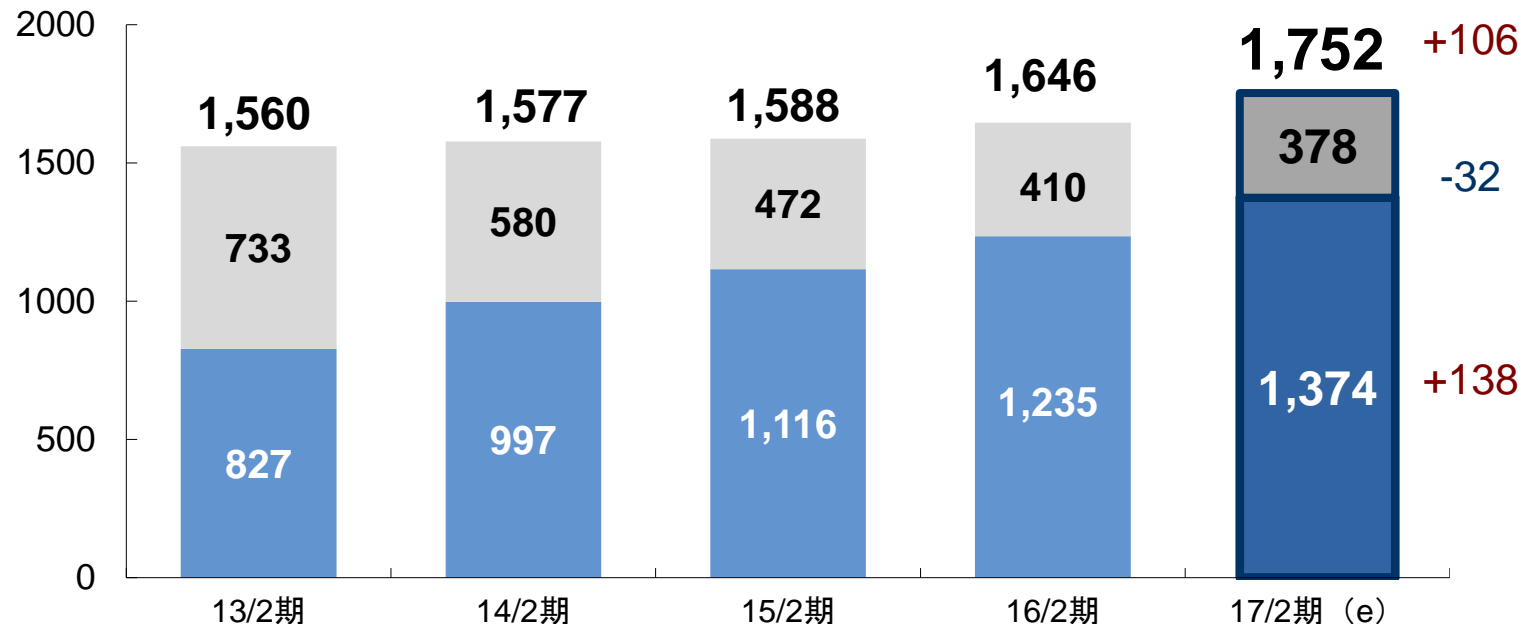
# ローン債権残高の継続的拡大

ローン債権残高の拡大を通じた安定的な増収フェーズへ

## ローン債権残高※

億円

■キャッシング ■ショッピングリボ



※ローン債権残高=ショッピングリボ残高+キャッシング残高



# 業績予想の修正

持続的な成長に向けて収益基盤の更なる拡大を目指す

	修正前 業績予想	修正後 業績予想	差異	前期実績	前期比 (修正後予想)
営業収益	365 億円	373 億円	+8 億円	356 億円	+4.6%
営業利益	40 億円	40 億円	-	37 億円	+6.4%
経常利益	40 億円	40 億円	-	37 億円	+5.8%
当期純利益	22 億円	22 億円	-	16 億円	+30.8%
一株あたり 配当金	10.0 円	10.0 円	-	10.0 円	-

# 免責事項

**本資料の記述には、当社の将来の業績に関する見通し、予測が含まれておりますが、これらは現在入手可能な情報からの判断に基づいており、実際の業績は、経済情勢の変化やその他様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。**

**また、本資料の記載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。**